

公開シンポジウム
「気候変動時代における市町村による新たな森林管理とゾーニング」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議農学委員会林学分科会
2. 共 催：なし
3. 後 援：一般社団法人日本森林学会、一般社団法人日本木材学会
4. 日 時：令和4年（2022年）11月20日（土）13：00 ～ 15：30
5. 場 所：オンライン開催
6. 分科会等の開催：開催予定あり

7. 開催趣旨：

森林は水源涵養機能や二酸化炭素の吸収源機能などの多面的機能を有する一方で、豪雨による土砂崩壊の発生など、災害の現場ともなりえる。日本は国土の3分の2を森林が占め、特に森林率の高い地域では、住民の安全・安心な生活環境の実現に向けて、森林管理や土地利用のゾーニングのあり方が重要な課題となっている。2019年に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」と「森林経営管理法」が成立し、市町村が主体となって地域の森林の維持管理や森林資源の利用を推進することができるようになった。本シンポジウムは、温暖化対策や地域づくり、国土利用計画、国土強靱化など多様な視点から森林の管理やゾーニングのあり方について、多様な関係者が共に議論する場とすることを目的とする。

8. 次 第：

司会 田中 和博（日本学術会議特任連携会員、京都先端科学大学バイオ環境部
バイオ環境デザイン学科教授・学部長）

13:00 開会挨拶：丹下 健（日本学術会議第二部会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

13:05 趣旨説明：田中 和博（日本学術会議特任連携会員、京都先端科学大学バイオ環境部バイオ環境デザイン学科教授・学部長）

13:15 基調講演「市町村による新たな森林管理の時代を迎えて」
土屋 俊幸（東京農工大学名誉教授）

パネルディスカッション「気候変動時代における市町村による新たな森林管理とゾーニング」

ファシリテータ：井上 真理子（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学園主任研究員）

- 13:45 「緩和策と適応策の視点による森林ゾーニング」
森 章（日本学術会議連携会員、東京大学先端科学技術研究センター教授）
- 13:55 「森林経営の視点による森林ゾーニング」
光田 靖（宮崎大学農学部教授）
- 14:05 「減災・防災の視点による森林ゾーニング」
徳地 直子（日本学術会議連携会員、京都大学フィールド科学教育研究センター教授）
- 14:15 「市町村による森林管理の現状と課題」
和田 透（岐阜県郡上市農林水産部林務課長）
河合 智（郡上森林マネジメント協議会事務局次長）
- 14:25 ディスカッション
パネルディスカッション登壇者とファシリテータ
- 15:25 閉会挨拶：杉山淳司（日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授）

9. 関係部の承認の有無：有

10. 関係する委員会等連絡会議の有無：有

（下線の講演者等は、主催分科会委員）